



北海道ファミリーハウス

— NPO法人 —

北海道

ファミリーハウス通信

2016年6月15日発行/No.17

発行：NPO法人北海道ファミリーハウス
責任者：理事・事務局長 大西 可奈
060-0807札幌市中央区北7条西6丁目
TEL(011)716-4161 FAX(011)716-4162

http://www3.snowman.ne.jp/~h-family/



総会の様子

第九回 通常総会ひらく

—— 五月二十八日 ——

■「はじめに」

皆様には日頃からファミリーハウス運動に対しご理解、ご支援を賜り

まして心からお礼申し上げます。

この一年間、会員やボランティアの皆様をはじめ多くの方々にご協力をいただきました。改めて感謝申し上げます。

この一年間の利用実績を見ると、比較的安価なホテル利用へと変化しています。これは金銭的負担に加え、プライバシーに対する意識の変化が考えられています。

引き続き、患者さんや家族にとって金銭的な負担の低減や不慣れな土地での治療という精神的な負担の低減のお役に立つよう運動を進めて参ります。

昨年は、北海道で全国会議が開催され多くの関係者、ボランティアの皆さんと交流することができました。

この一年間の活動を振り返りながら、頂戴したご意見などを次年度に生かして参りたいと考えております。引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■第九回通常総会 五月二十八日(土)

五月二十八日、「第九回通常総会」を開催しました。

総会では、二〇一五年度事業報告、収支決算および監査報告を行い、報告どおり承認されました。

引き続き、二〇一六年度の事業計画・予算・役員について審議の結果、提案どおり決定されました。

■二〇一六年度事業・活動計画

一. 事業実施の方針

入院治療を受ける患者とその家族（小児がん等難病患者をはじめとする入院患者家族）を経済的並びに精神的に支援する活動を行ってまいります。

二. 特定非営利活動に係る事業

(一) 援助及び支援活動

入院治療を受ける患者とその家族（小児がん等難病患者をはじめとする入院患者

家族）を支援するために、病院の隣接地区にあるファミリーハウス（賃貸住宅や宿泊施設等）の情報を提供し、ニーズに合わせ円滑な利用が図れるよう活動を行ってまいります。

○ホテル利用者の割合が高くなる傾向にあることから、登録ホテルの充実を図ります。

○子どもの笑顔づくりの活動として、他団体との連携・支援を行います。

○治療に専念する子どもたちの希望に繋がる活動として、「そらぶちキッズキャンプ」を支援します。

(二) ファミリーハウスの設置及び運営

滞在施設を独自に開設し、運営できるように活動を強化していきます。また、道内の医療機関から紹介を受けて、道外の高度専門医療機関で治療を受ける患者家族に対しても、その地域のファミリーハウス紹介などの支援を行います。

(三) 道民に理解を求める広報

インターネットを中心にしながら、あらゆる広報媒体を使って、入院治療を受ける患者と小児がん等難病の子どもたち及びその家族の現状についてPRする活動を行います。



2016 年度役員

理事長	南谷 晴之 (再任)
副理事長	神戸 智子 (新任)
理事 事務局長	大西 可奈 (再任)
理事	島山 茂房 (再任)
理事	加藤 弦 (再任)
理事	塩谷 えり子 (再任)
理事	新山 久美 (再任)
理事	小林 敬 (再任)
理事	川原 直行 (新任)
理事	松澤 優樹 (新任)
理事	高橋 誠 (新任)
監事	中村 真一 (再任)

ファミリーハウスの利用実績 ホテル利用：6,170日、オーナー物件：373日 (H27.4.1~H28.3.31)

二〇一五年度 事業報告

一、特定非営利活動に係わる事業

(一) 援助および支援活動

①入院して治療を受けている子どもたちの笑顔作りの活動として、病院内で「ジャグリングショー」を上演し、子どもと家族を招待しました。



「ジャグリングショー」



クリスマスプレゼント (木のリーフ)

十月二十八日
「ジャグリングショー」
北大病院体育館
十二月三日「クリスマス」
北大病院プレイルーム
(小児科)

(二) 道民に理解を求める広報活動

あらゆる広報媒体を通じて、道民に広くPRする活動を行いました。

①ホームページやガイドブックを活用し、活動内容とファミリーハウス施設情報を提供しました。

②パンフレットを活用し、活動内容のPRを行いました。

③PRチラシを各種イベントや病院などで配布しました。

④「NPOファミリーハウス通信」を発行(二〇〇〇部×二回)し、活動の状況などを紹介して運動への理解と支援に結びつける取り組みをしました。

会員口数 (H28. 3. 31現在)

正会員	74口
賛助会員	2,213口
法人会員	2口

平成28年度「特定非営利活動に係る事業」会計収支予算書
平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

科目	金額	備考
I 収入の部		
1会費収入	100,000	個人、法人
2賛助金収入	2,200,000	個人、法人
3助成金収入	0	
4寄付金収入	0	
5事業収入	0	
6雑収入	0	
当期収入合計(A)	2,300,000	
II 支出の部		
1事業費	1,600,000	
(1)援助及び支援活動	1,100,000	通信費、交通費、他団体交流など
(2)ファミリーハウスの設置及び運営	300,000	ガイドブック、未就学児利用料補助など
(3)道民に理解を求める広報	200,000	会報紙、HP管理など
2管理費	700,000	
当期支出合計(B)	2,300,000	
当期収支差額(A)-(B)	0	

その他事業
なし

平成27年度「特定非営利活動に係る事業」会計収支報告書
平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

科目	金額	備考
I 収入の部		
1会費収入	92,000	個人、法人
2賛助金収入	2,233,000	個人、法人
3助成金収入	150,000	札幌信金社会福祉基金、共同募金会
4寄付金収入	95,560	我汝会さつぽろ、ヒーリングサロン和
5事業収入	0	
6雑収入	202,058	利息・JHHH会議補助
当期収入合計(A)	2,772,618	
II 支出の部		
1事業費	1,848,458	
(1)援助及び支援活動	1,115,844	交通費、行事費、そらぶち支援など
(2)ファミリーハウスの設置及び運営	238,397	ガイドブック、パンフレット印刷
(3)道民に理解を求める広報	245,397	ファミリーハウス通信、広告費
(4)全国会議および見学会	248,820	ファミリーハウス通信、広告費
2管理費	619,373	
当期支出合計(B)	2,467,831	
当期収支差額(A)-(B)	304,787	次期繰越額

その他事業
なし

二〇一五年度 助成金・ご寄付

ファミリーハウス運動に対し、各方面から多大なご支援をいただきました。心から感謝申し上げます。

■助成金(敬称略)

北海道共同募金会 十万円
札幌信用金庫社会福祉基金 五万円

■ご寄付(敬称略)

我汝会さつぽろ病院 一万円
ヒーリングサロン和 八五、五六〇円

二〇一六年度 第一回理事会を開催

第一回理事会を開催し左記のとおり選任しました。



理事長 南谷 晴之

副理事長 南谷 晴之(再)
理事 神戸 智子(新)
理事・事務局長 大西 可奈(再)

昨年度は全国ネットワーク会議で

意見交換、交流を行いました



昨年十月十八日、北海道大学情報教育館において第十六回JHHH(Japan Hospital Hospitality HouseNetwork)を開催しました。前日には「そらぶちキッズキャンプ」の見学会を実施しました。

皆さんお世話になりました



そらぶちキッズキャンプ(公益財団法人) <http://www.solaputi.jp/>

病気とたたかう子どもたちに夢のキャンプを行うため、日本ではじめて医療施設を完備し、特別に配慮されたキャンプ施設や自然体験プログラムを設け、自然の中で病気のことを忘れ笑顔で楽しいひとときを過ごすことを目的としています。